

# 3-Q-27 多人数同時発声環境における効果的なシャドーイング音声収録に関する検討

Experimental attempts to realize effective recording of utterances produced by multi-speakers' simultaneous shadowing

峯松信明 (東大工), ☆楽俊偉 (東大工), △山内豊 (東京国際大), △伊藤佳世子 (京大), 齋藤大輔 (東大工)

シャドーイング: モデル音声を聴取し, 聞き取りながら, 同時に発声 (追唱) する訓練法。認知的負荷は高いが, 英語処理能力全体が向上する。

先行研究: 特定の教育現場で数十名からシャドーイング音声を収録し, 自動評価技術を構築。市販されている, Skype用ヘッドセットマイクにて収録。

本研究: 複数の教育機関にて大規模にシャドーイング音声を収録中。効果的な収録に向けて, 種々の検討を行ない, 収録に臨んでいる。本発表では, 検討した内容と, それを踏まえた, 実際の収録の様子を述べる。



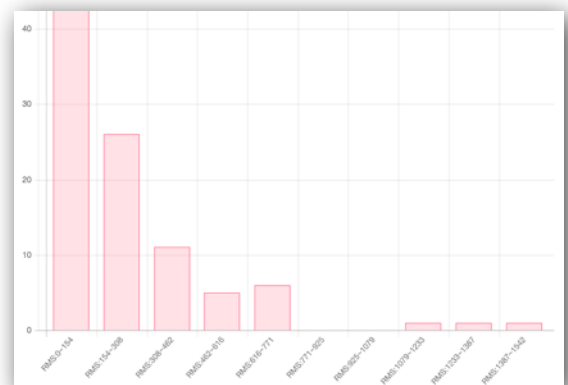
どんなマイクが良いのか?



どんな教示が良いのか?



どんな収録インターフェースが良いのか?



教示に従わない学習者への対策は?

そもそも, センター試験にスピーキング問題なんて, 導入できるのか?